

松田町立小学校校舎建設事業



松田町立 松田小学校

所在地：神奈川県足柄上郡松田町松田庶子204

敷地面積：10,924.05 m²

発注者：松田町

設計：前田建設工業・計画・環境建築・類設計室
関野建設 設計・建設工事共同企業体

意匠設計：計畫・環境建築・類設計室

構造設計：類設計室・桜設計集團構造設計室

電氣機械設備設計：類設計室

防耐火設計協力：桜設計集団一級建築士事務所

工事監理：計画・環境建築・類設計室監理共同企業体

施 工 : 前田建設

電気設備工事：中電工

機械設備工事：川本

施設概要

■木造西棟(普通教室)
構造 造 木造3階建
面積 1,726.10㎡

■木造東棟(職員室・特別支援教室・特別活動室)
構造 造 木造3階建
面積 1,889.00㎡

■木造メディア棟(共用部・図書館)
構造 造 木造3階建
面積 590.48㎡

■RC体育館棟(給食室・音楽室・体育館)
構造 造 鉄筋コンクリート造
面積 木造(屋根) 1,587.27㎡

■RCコア棟(トリエレベーター)
構造 造 鉄筋コンクリート造
面積 494.46㎡

延べ面積：
6,287.31㎡

『松田と共に育つ 新しい学びの樹』

本事業は、文部科学省の推進する「木の学校づくり先導事業（平成27(2015)年度）」の支援を受けた全国301個目となる津島火燒道の木造3階建て校舎（木3学）です。地域の特長となり、町の成長を牽引する事業として「松田と共に育つ 新しい学びの樹」をコンセプトに事業が進んできました。

これら全国に普及していく木の学校づくりモデルを目指し、構造は最も標準的な在来軸組工法を採用しています。防防火は、建築基準法で定められる1時間耐火基準で、メンブレン防火と燃え止設計を組み合わせています。

凡例	
00.00	現況地盤レベル(標高基準)
00.00	計画地盤レベル(標高基準)
00.00	各種の平均地盤面からの高さ
00.00	最高高さ
0.00	仮ベンチマーク
0.00	延焼のおそれのある範囲
0.00	手摺
0.00	境界線(地盤)



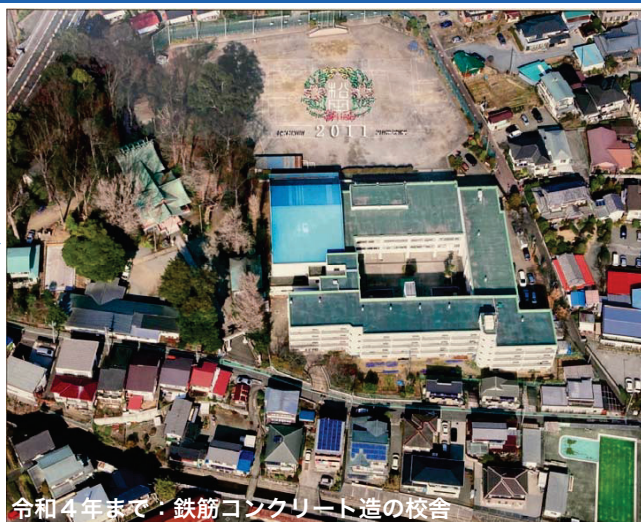
松田小学校

全体概要

2



昭和初期：木造の校舎



令和4年まで：鉄筋コンクリート造の校舎

50年ぶりに昔の場所に校舎が戻る事業



新しい木造校舎

学びの遷宮

3



松田小学校

校舎概要

4



松田小学校

校舎概要

5

RC体育館棟

木造メディア棟

木造東棟

RCコア棟

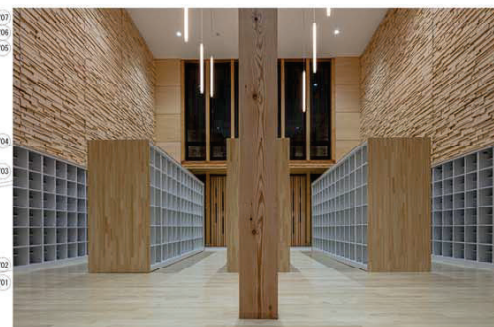
木造西棟

構造フレームモデル

6

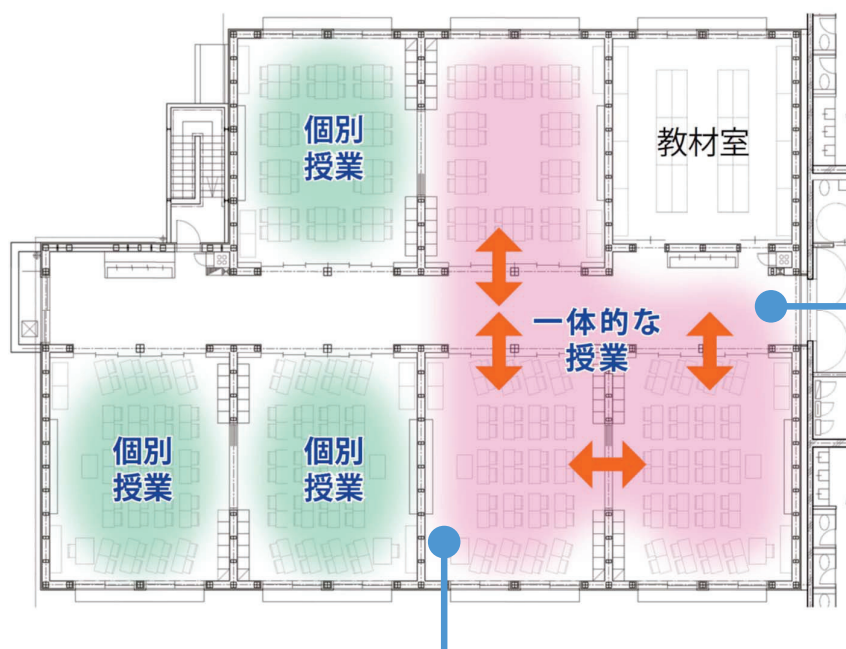


普通教室



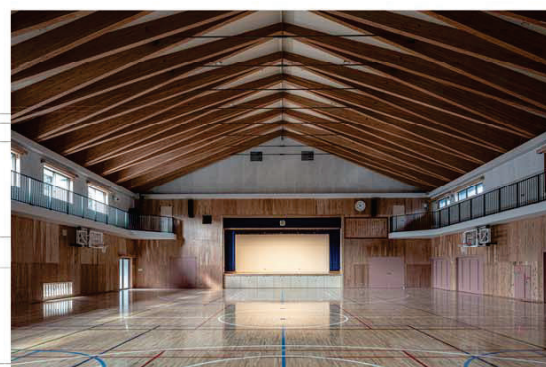
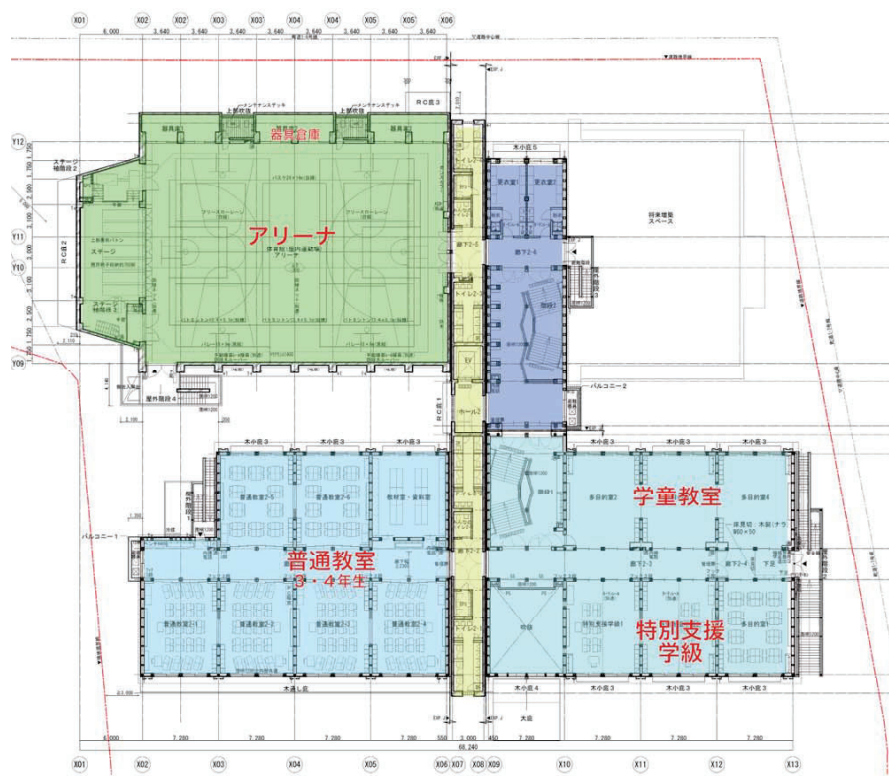
昇降口

1階 平面図

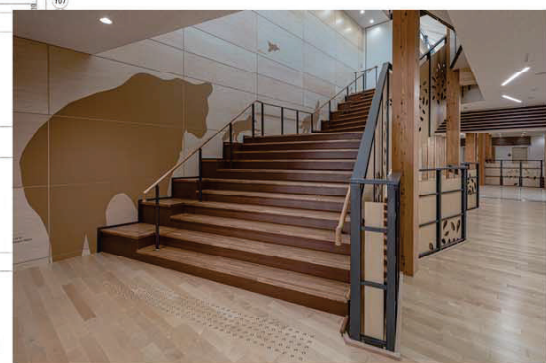


多様な学びに対応する教室

8

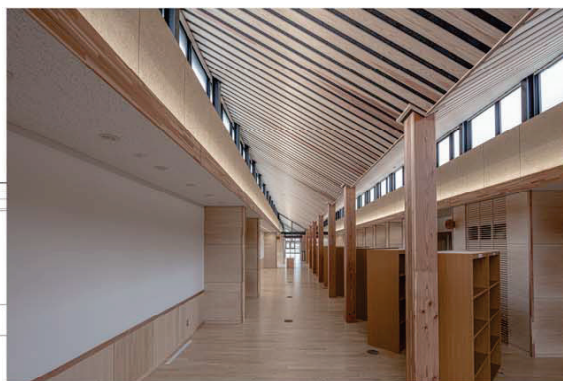
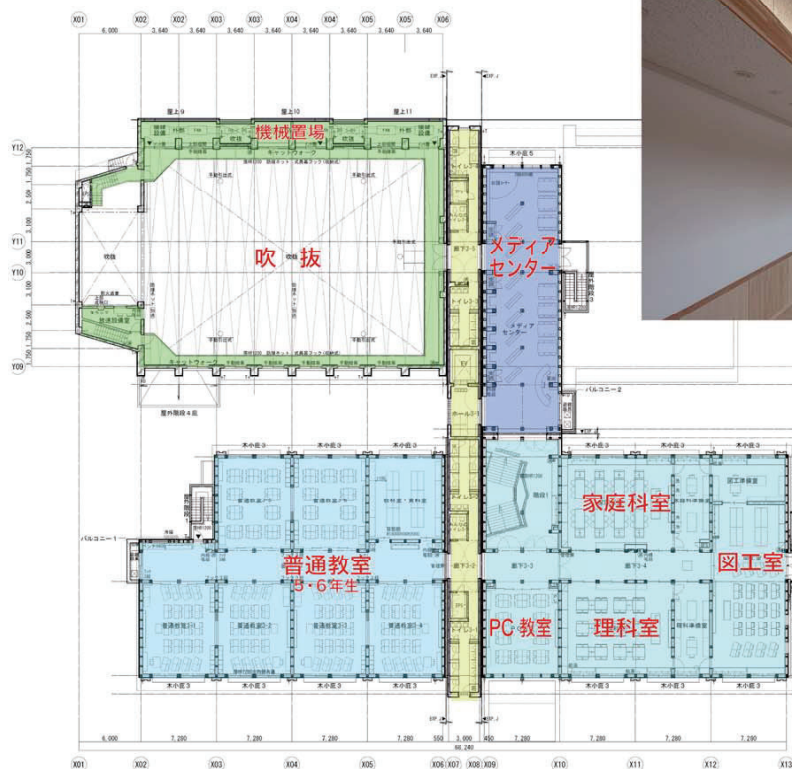


アリーナ

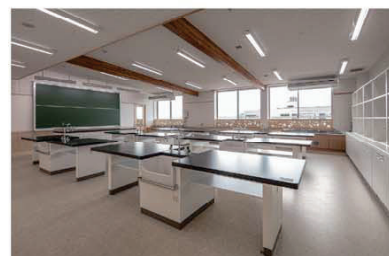


学びの階段

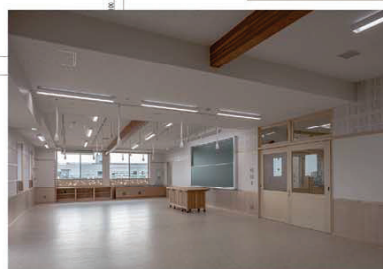
2階 平面図



メディアセンター



理科室

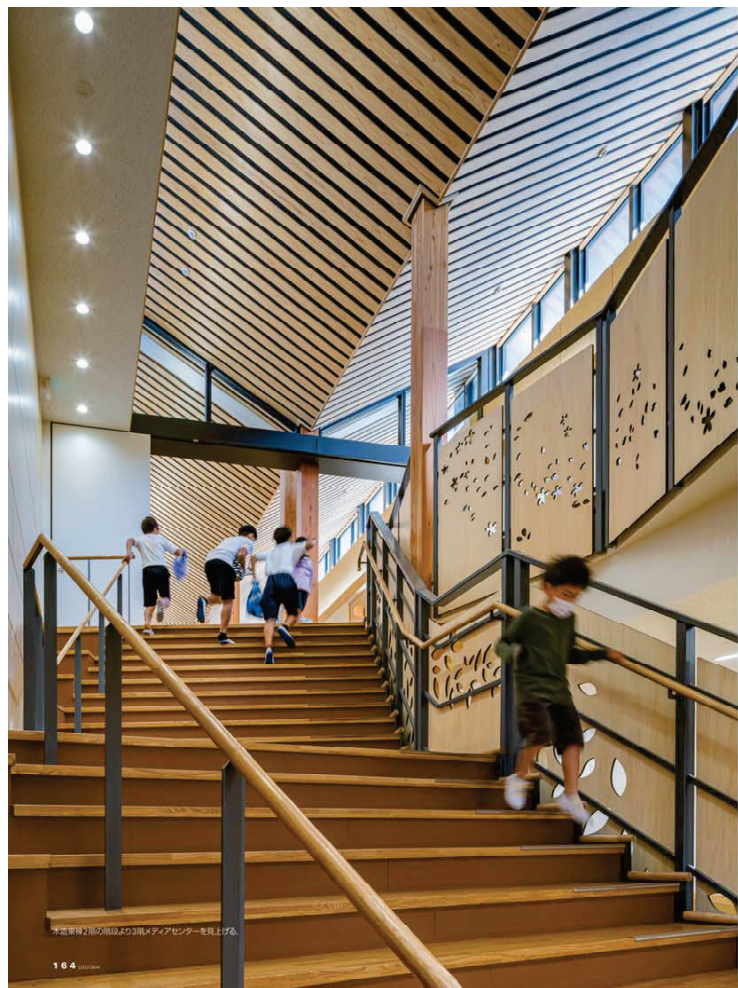


図工室

3階 平面図
校舎概要

松田小学校

10



■ 木材の使用数量 (2021年10月時点)

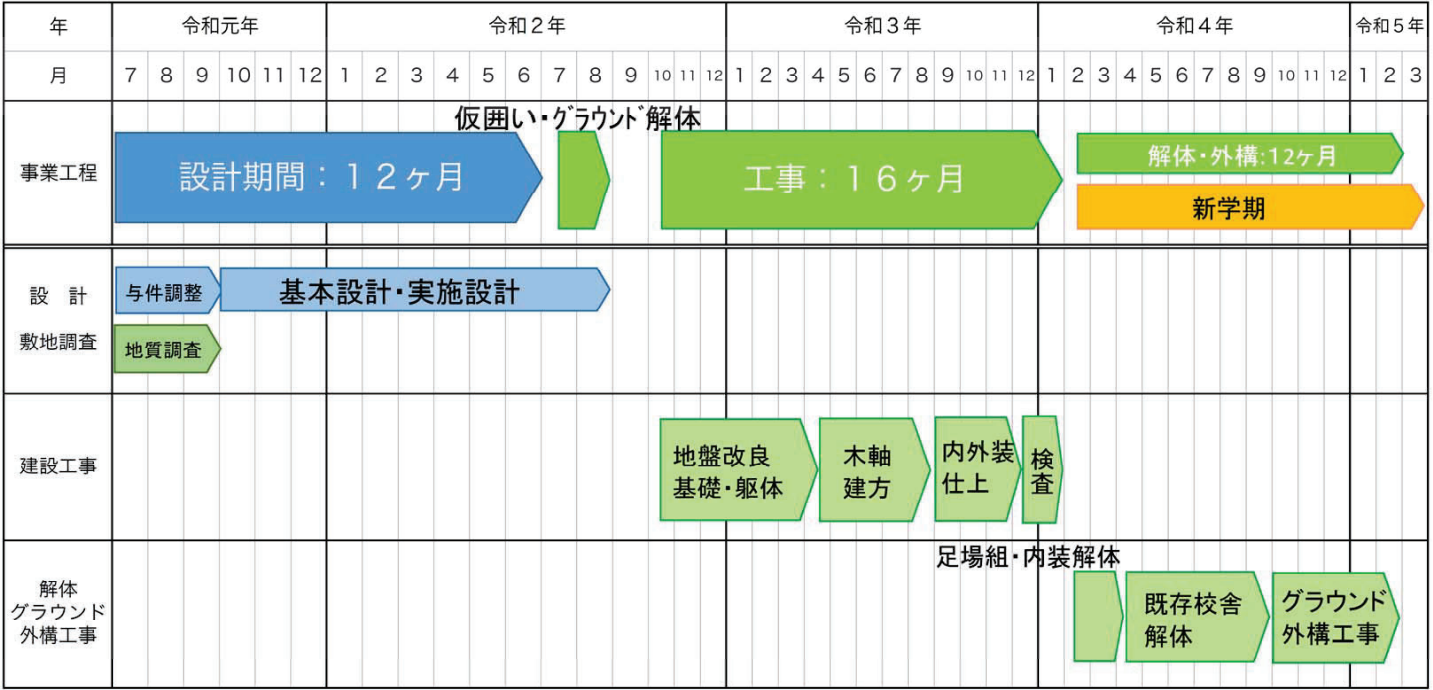
m³ m³ m³ m³

業者名	工 種	棟 別	全体木材 使用量	国産材使用量		国産材 CLT
中東	木軸工事	全棟	765.4	537.7		3.4
ナイス	木造作工事	西棟・アリーナ棟	73.0	39.5	—	—
中部建設	木造作工事	東棟・メディア棟・コア棟	15.8	11.2	—	—
丸吉産業 ナイス	フローリング工事	全棟 (アリーナ内壁は県産材)	90.3	68.6	町産材: 10.3 県産材: 35.4	— —
阿部興業	木製建具工事	全棟	13.0	0.1	—	—
合 計			957.5	657.1		3.4

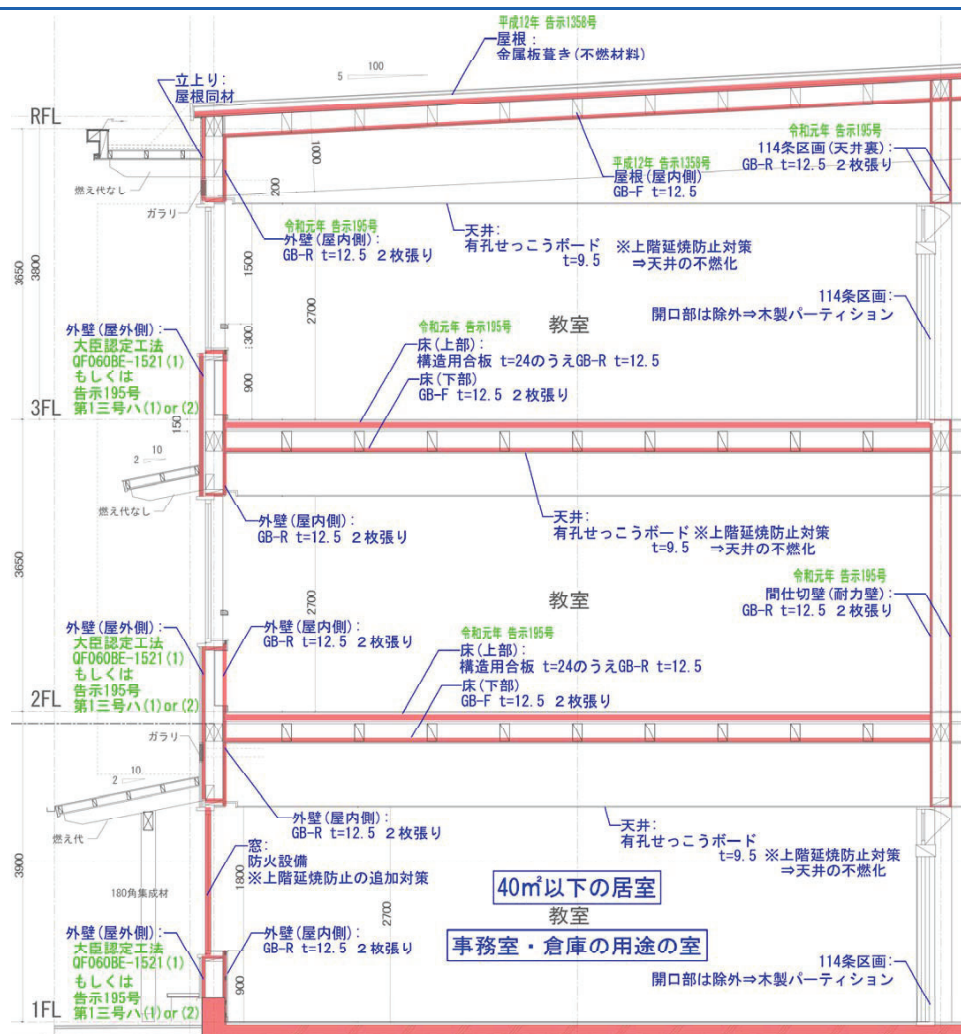
松田小学校 木材の使用量 12

建築工事費(b) (注4)	1,990,900 千円 (税抜、用地費・解体工事費除く) うち補助事業費: 合計 1,101,578 千円 事業名: 学校施設環境改善交付金 補助金額: 981,409 千円 事業名: 公立学校施設費国庫負担金 補助金額: 11,322 千円 事業名: 子ども・子育て支援施設整備交付金 補助金額: 61,628 千円 事業名: 地震対策緊急整備事業補助金 補助金額: 15,777 千円 事業名: 神奈川県子ども・子育て支援施設整備交付金 補助金額: 15,428 千円 事業名: 市町村地域防災力強化事業費補助金 補助金額: 6,881 千円 事業名: 木造公共施設整備事業補助金 補助金額: 9,133 千円		
木材使用量(c)	957.5 m ³		
単位床面積あたりの コスト(b/a)	267,313 円/m ²	単位面積あたりの木 材使用量(c/a)	0.15 m ³ /m ²
主な木材使用部位・ 部材と使用樹種、産 地等	柱・梁: 欧州赤松集成材、カラマツ集成材 (長野県) 耐力壁間柱: 杉製材 (石川県) 耐力壁・床板: カラマツ構造用合板 (石川県) 杉構造用合板 (島根県) CLT: 杉 (石川県) 土台: ヒノキ製材 (三重県) 母屋・垂木: ベイマツ 有孔合板: 杉 (神奈川県) フローリング: ヒノキ (町産材・県産材) /スノーバーチ		

(令和6年度 木材利用推進コンクール 応募資料より抜粋)

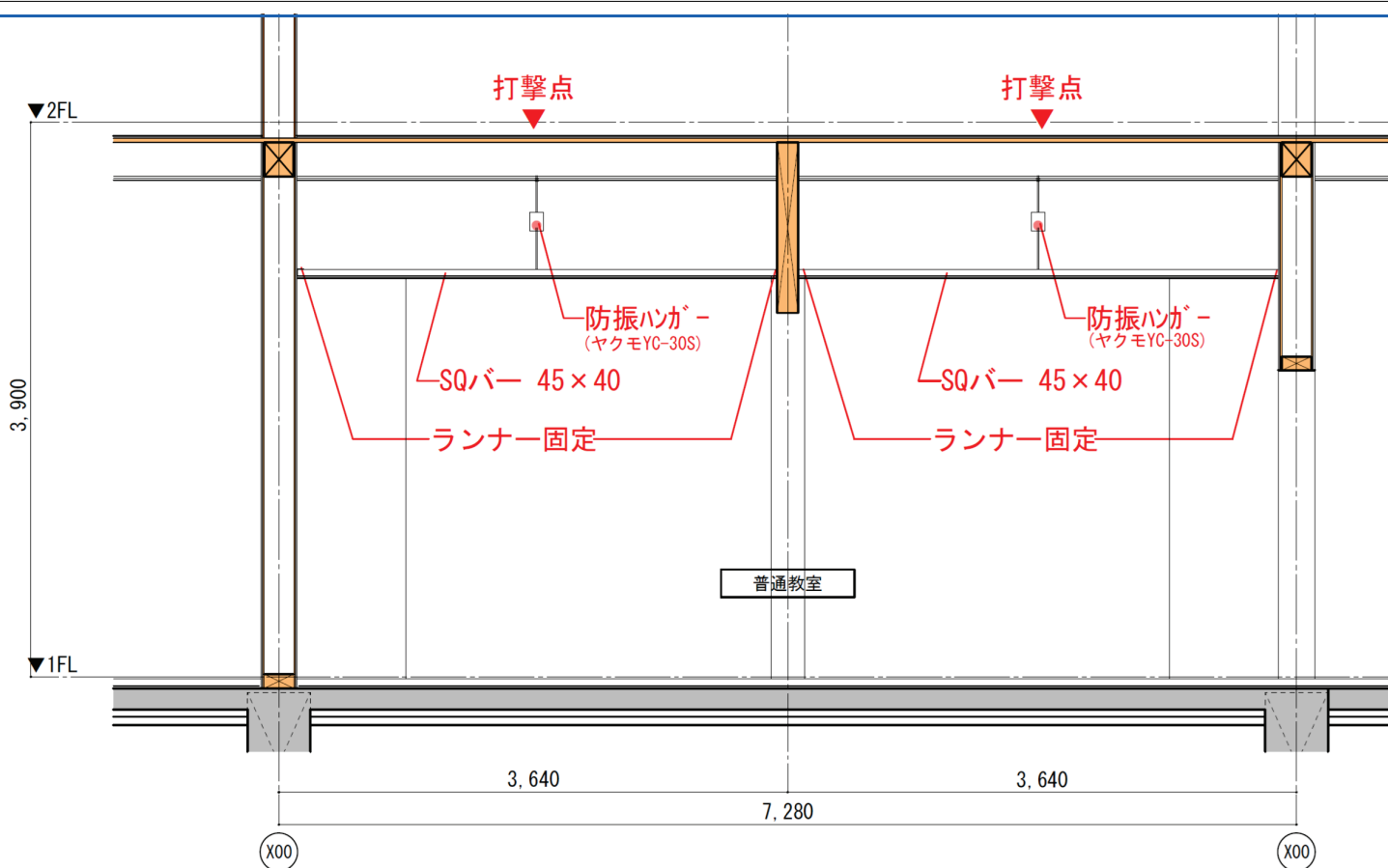


防 耐 火 の 法 令



準耐火構造 防火被覆の概要 18

床遮音性能の確保



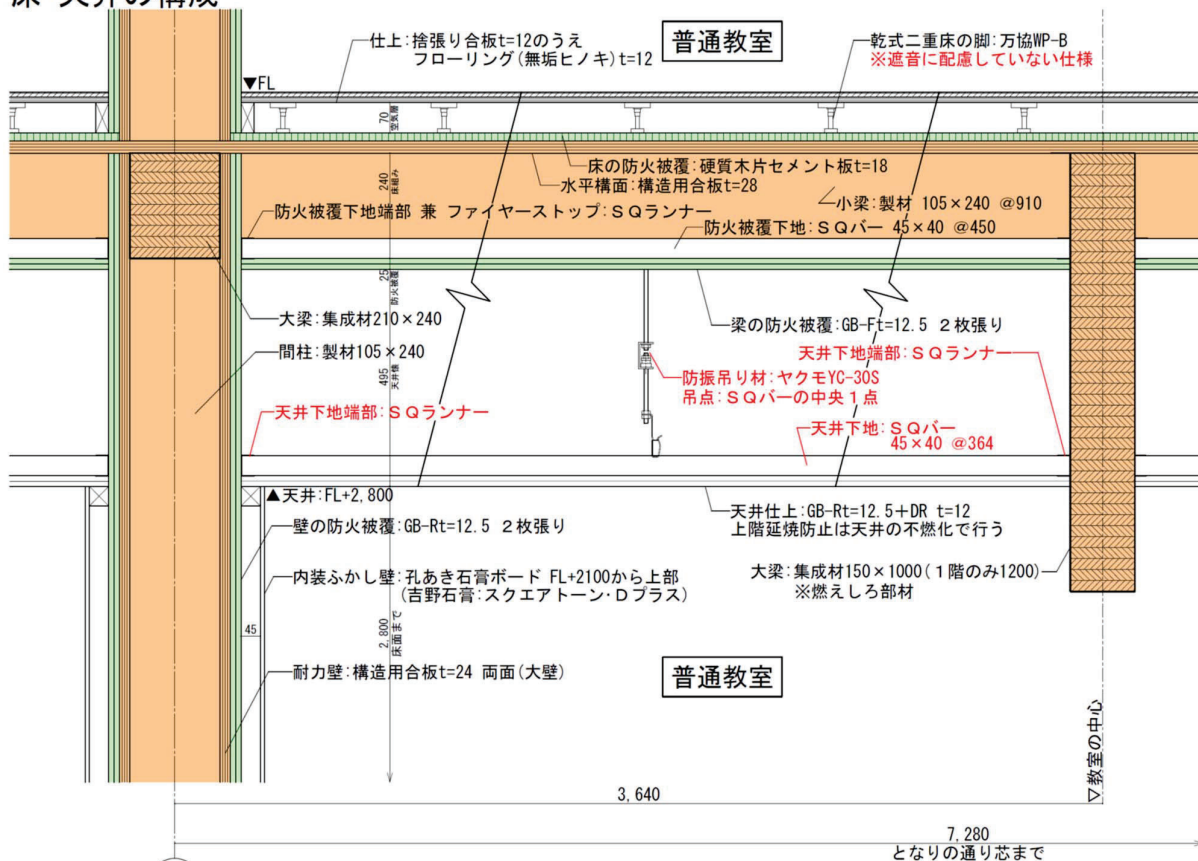
採用工法

断面図

普通教室：吊り天井にしない工夫

20

床・天井の構成



：木造躯体(製材・集成材・合板)

：防火被覆材

普通教室：吊り天井にしない工夫

21



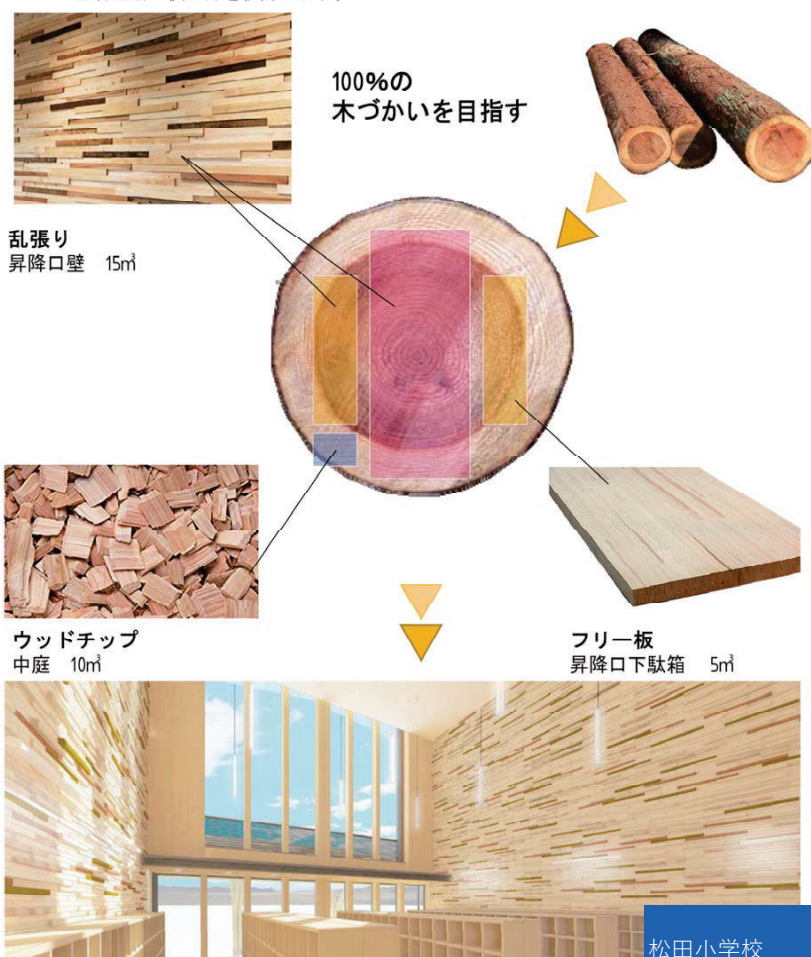
校舎西棟 床遮音性能測定(完成時) 令和3年1月18日

22

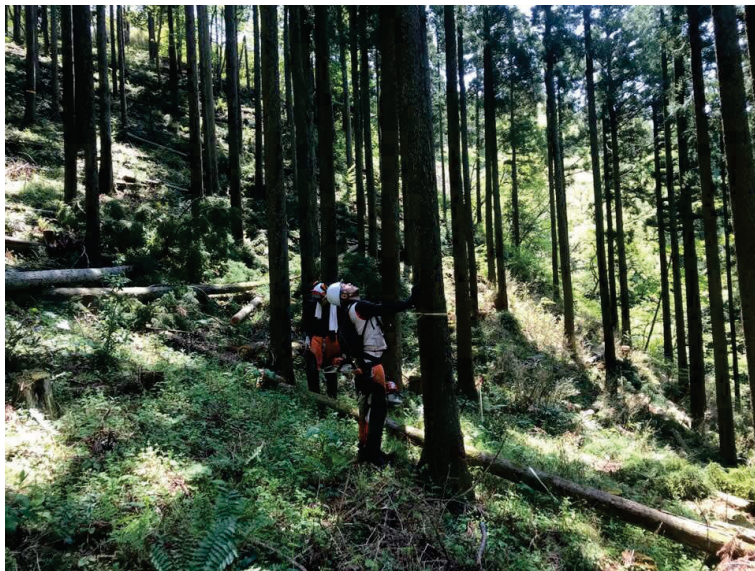
■町有林材の利用イメージ

3.【活用内容】

- ・町有林は30m程度の丸太を伐採予定です。
- ・丸太から木取りをする際には30m³の木材を余すことなく使いきれるように、適材適所の使い方を検討します。



23





令和3年6月21日～28日
梁の寄せ書き

28





木造東棟 児童の寄せ書きが棟持ち梁に

30

令和3年7月12日
児童見学会



児童見学会 木の学校クイズ

令和3年7月12日

32



町民見学会

令和3年7月17日

33

令和3年9月27日～10月4日
ワークショップ

34



ワークショップ

令和3年9月27日～10月4日

35



ワークショップ

令和3年9月27日～10月4日

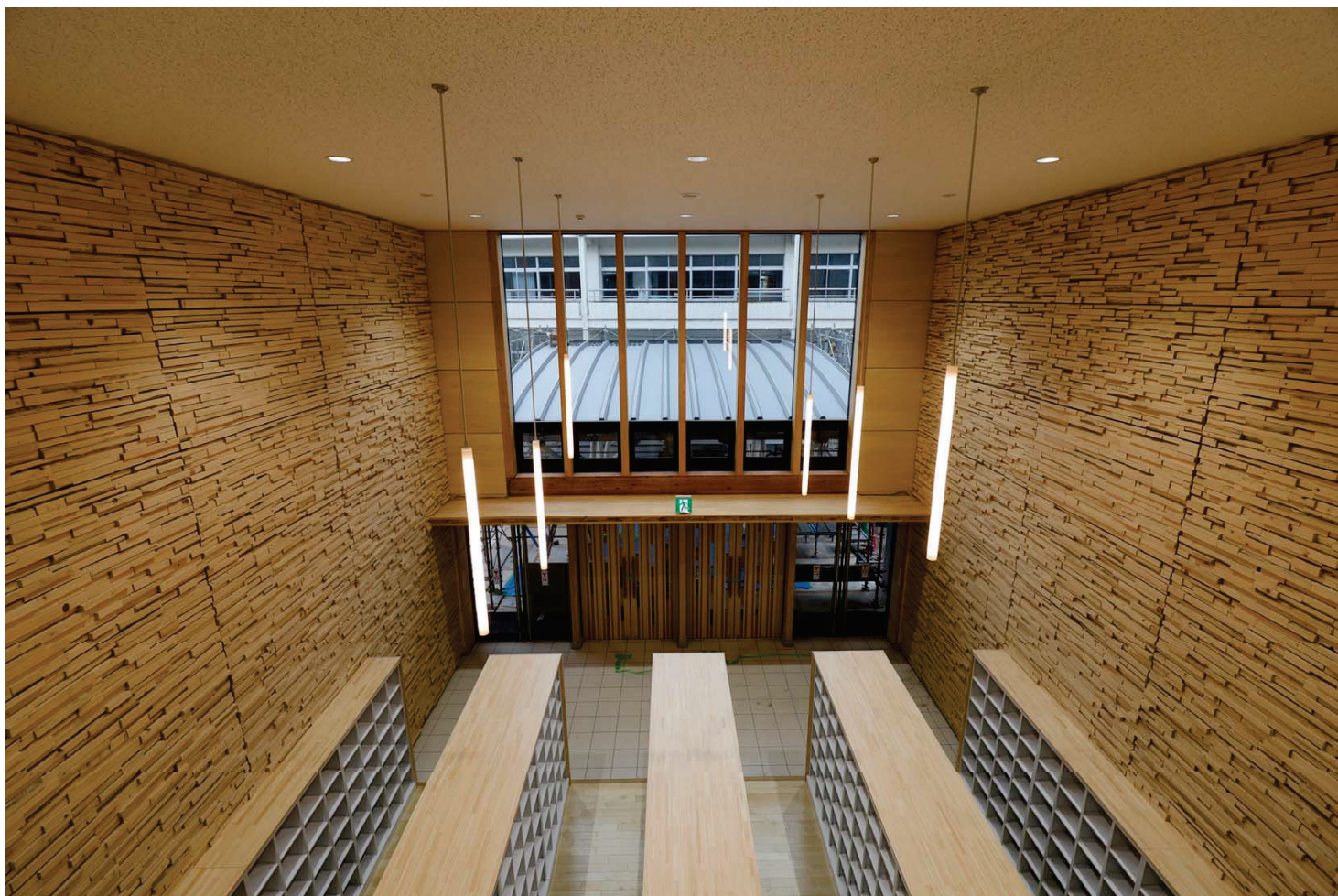
36



ワークショップ

令和3年9月27日～10月4日

37



昇降口両翼の内装壁は 全校児童が作った作品 38